

令和6年度 教育研究員部会別発表会案内

東京都教育委員会は、所属校(園)における教育活動を通して、各教科等の内容、指導方法等を研究し、様々な課題の解決と指導力の向上を図り、当該地区等における教育研究活動の中核となる教員としての資質・能力を養成するために、教育研究員を設置しています。

令和6年度は、193人の教育研究員が、共通の研究テーマ「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」に基づき、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等の各教科等の部会において、研究を進めてきました。

この度、研究のまとめとして、教育研究員の所属校等において、以下のとおり研究成果の発表会を開催します。

参加は、部会別発表会の2週間前までにURL または二次元コードからお申し込みください。

URL <https://forms.office.com/r/wrfwPdd3dS>

二次元コード



※ 申し込みは、後日編集が可能です。出欠に変更が生じた場合は、内容を修正してください。

校種等	部会名	校種等	部会名
幼稚園	幼稚園	中高・合同	美術
小学校	国語	高等学校	特別活動
	社会		国語
	算数		公民
	理科		数学
	体育		理科
	外国語活動・外国語		保健体育
	特別活動		外国語
小・中合同	音楽	特別支援学校等	農業
	特別の教科 道徳		知的障害教育
中学校	国語	全校種	発達障害等教育
	社会		学校保健
	数学		
	理科		
	保健体育		
	外国語		

<問合せ先>

東京都教育庁指導部指導企画課

電話 03(5000)7051

令和 6 年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	幼稚園	研究 主題	自信をもって行動する幼児を育てる ～目当てをもち、考え行動する姿を支える教師の援助と環境の構成～
日時	令和 7 年 2 月 4 日（火） 午後 1 時から午後 4 時30分まで		
会場	中央区立月島第一幼稚園	概要	充実感や満足感を味わい、目当てをもって遊ぶ中で、諦めずにやり遂げ、自信をもって行動する幼児の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ①幼児が目当てをもち、考え行動する過程を明らかにする。 ②幼児が遊びを楽しむ中で、目当てをもち、考え行動するようになるための教師の援助と環境の構成を探る。
公開 授業	年中 4 歳児学級		
講師	台東区立石浜橋場こども園 園長 和田 万希子 氏		

部会	小学校 国語	研究 主題	説明的な文章において自分の考えを形成する力を育てる指導法の工夫 ～目的をもって読み、既存の知識や体験と結び付けて考える活動を通して～
日時	令和 7 年 2 月14日（金） 午後 1 時25分から午後 4 時30分まで		
会場	江東区立第三大島小学校	概要	自分の考えを形成することができる児童を育てるために、以下の 2 点を中心に研究を行った。 ①児童が目的を意識しながら学習に取り組めるよう、児童にとって目的意識をもてる単元計画や言語活動の設定の効果についての検証 ②児童の「考えの形成」が充実するよう、知識や体験と結び付けて考えるための視点の明確化及び既存の知識や体験を引き出すための資料の活用や場の設定の効果についての検証
公開 授業	第 6 学年 自分にとっての「考える」について考えよう		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 大塚 健太郎 氏		

部会	小学校 社会	研究 主題	主体的に学習問題を追究し続け、解決を目指す児童の育成
日時	令和 7 年 2 月18日（火） 午後 1 時30分から午後 4 時30分まで		
会場	新宿区立四谷小学校	概要	児童が教材との出会いから解決したいという思いをもち、予想を基に学習計画を立て、学習記録を基に振り返ることができるようにする。さらに、他者の考えに触れたり、自分の考えを他者に伝えたりすることで、主体的に学習問題を追究し続け、解決を目指すと考え、以下の 2 点を中心に研究を行った。 ①追究意欲を高め持続することのできる手だて ②学びを深めるための言語活動
公開 授業	第 4 学年 「ゆたかな自然を守り生かす小笠原村」 第 5 学年 「森林とともに生きる」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小倉 勝登 氏		

令和 6 年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	小学校 算数	研究 主題	主体的に問いをもち、問題解決に取り組む児童の育成 ～自立した学習者を育てる算数の授業～
日時	令和 7 年 2 月 25 日（火） 午後 1 時 25 分から午後 4 時 30 分まで		
会場	多摩市立東寺方学校	概要	自立した学習者を育てる算数の授業を通して、主体的に問いをもち、問題解決に取り組む児童の育成を目指し、以下の 3 点を中心に研究を行った。 ①児童が働かせる「数学的な見方・考え方」を具体的な姿として想定し、価値付けすること ②児童が主体的に問いをもてるような教材・教具や問題提示の工夫をすること ③協働的な学びや児童の学びをつなぐため、児童の考えを可視化したり、発問や問い返しの工夫をしたりをすること
公開 授業	第 4 学年 面積のくらべ方と表し方		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 笠井 健一 氏		

部会	小学校 理科	研究 主題	「思考力、判断力、表現力等」の育成 ～「『理科の問題解決』達成シート」を活用した学習改善～
日時	令和 7 年 2 月 7 日（金） 午後 1 時 35 分から午後 4 時 30 分まで		
会場	立川市立柏小学校	概要	理科の問題解決の過程において、「『理科の問題解決』達成シート」を児童と教師が共有しながら、繰り返し活用することで、児童の「思考力、判断力、表現力等」が育成されと考え、以下の 2 点を中心に研究を行った。 ①教師と児童が「思考力、判断力、表現力等」の達成の基準を共有するための「『理科の問題解決』達成シート」の活用について検証 ②児童の評価活動を計画的に取り入れるなどの授業展開の工夫について検証
公開 授業	第 6 学年 電気の利用		
講師	学校法人希望が丘学園鳳凰高等学校 学園統括顧問 日置 光久 氏		

部会	小学校 体育	研究 主題	表現運動系領域での個別最適な学びと協働的な学びの 一体的な充実 ～習得・活用・探究の学習過程と指導の工夫～
日時	令和 7 年 2 月 4 日（火） 午後 1 時 45 分から午後 4 時 30 分まで		
会場	調布市立若葉小学校	概要	表現運動系の領域において、楽しさや喜びを味わうことで課題を見だし、様々な学習活動の中で学び方を工夫しながら、仲間と共に解決し続けることのできる児童の育成を目指し、以下の 3 点を視点に研究を行った。 ①習得・活用・探究の学習過程 ②習得における教師のファシリテーション ③学びを支える I C T の効果的な活用
公開 授業	第 5 学年 表現運動「表現」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 塩見 英樹 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	小学校 外国語活動・外国語	研究 主題	全ての子どもたちが自信をもって英語で話せるようになるための指導の工夫 ～「話したい！」という意欲を引き出す言語活動を目指して～
日時	令和7年2月21日（金） 午後1時40分から午後4時30分まで		
会場	足立区立千寿小学校	概要	個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させ、自信をもって英語で話すことに取り組むことができる児童の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ・主体的にコミュニケーション活動に取り組むための言語活動の工夫 ・既習事項の定着と活用に向けた言語活動の工夫 ・児童が見通しをもって学習活動に取り組むための工夫
公開 授業	第5学年 Unit5 “My hero is my brother.”		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 早川 優子 氏		

部会	小学校 特別活動	研究 主題	自己のよさや可能性を認識し、学級会で生かそうとする児童の育成 ～個人のめあての共有や振り返りの価値付けを通して～
日時	令和7年2月14日（金） 午後1時45分から午後4時30分まで		
会場	昭島市立つつじが丘小学校	概要	学級会において、教師が「学級会ブック」を活用し、個人のめあての共有や振り返りの価値付けを行うことで、児童は、自己のよさや可能性を認識し、自分に合った形で学級会に参加できると考えた。 「学級会ブック」とは、学習者用端末を活用して、児童が、学級会で頑張りたいことや頑張ったことを視覚的に表現し、児童同士で共有したり、教師がコメントをしたりできるものである。
公開 授業	第5学年 議題「1年間の思い出集会をしよう」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 和久井 伸彦 氏		

部会	小中合同 音楽	研究 主題	音楽的な見方・考え方を働かせ、音楽のよさを実感して表現する児童・生徒の育成 ～音や音楽及び言葉によるコミュニケーションの充実を通して～
日時	令和7年2月13日（木） 午後1時25分から午後4時30分まで		
会場	墨田区立言問小学校	概要	音楽的な見方・考え方を働かせながら、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションの充実を図り、主体的・対話的で深い学びを実現するための研究を行った。具体的には、次の3点の手だてを講じ、検証授業を行った。 ①児童・生徒一人一人の実態に応じた柔軟な学習活動や学習課題の設定 ②自己の考えを広げ深める協働的な学びの場の充実 ③児童・生徒が既習の学びを活用しながら学ぶことのできる指導の工夫
公開 授業	第3学年 音のひびきや組み合わせを楽しもう（音楽づくり）		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 河合 紳和 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	小中合同 特別の教科 道徳	研究 主題	子供の可能性を引き出し、自己肯定感を育む指導の工夫 ～子供が主体的に考える発問の工夫を通して～
日時	令和7年1月31日（金） 午後1時45分から午後4時30分まで		
会場	荒川区立第四峡田小学校	概要	子供が主体的に道徳的価値について考えることを目指し、以下の二点の発問の工夫を研究の柱として設定し、研究を行った。 ①子供が道徳的価値を自覚し、主体的に考える発問 ②子供が様々な視点から物事を理解し、学習に取り組む発問 ※ 公開授業では、発達段階に応じた発問の工夫を示すため、2つの学年を公開する。
公開授業	第2学年 「すてきなえがお」 第5学年 「感動したこと、それがぼくの作品 パブロ・ピカソ」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 井上 結香子 氏		

部会	中学校 国語	研究 主題	根拠を明確にして考える力を育成する「読むこと」の指導の工夫
日時	令和7年2月10日（月） 午後1時35分から午後4時30分まで		
会場	練馬区立貫井中学校	概要	「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較したり関係付けたりすることで段落や部分などの具体的な表現に着目できるようにする言語活動を設定するとともに、自らの学習を調整して次の学びに生かすことができるようにする振り返りを学習過程の中で意図的・計画的に指導することで、文章の特徴について根拠を明確にして考える力を育成する。
公開授業	第1学年 視野を広げる「意味と意図—コミュニケーションを考える」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 鈴木 太郎 氏		

部会	中学校 社会	研究 主題	主体的に課題を追究し、解決することができる生徒の育成 ～学習課題の設定と学習方法を生徒に委ねる授業の実践～
日時	令和7年1月28日（火） 午後1時25分から午後4時30分まで		
会場	新宿区立落合中学校	概要	社会的な見方・考え方を働かせながら、単元を貫く問いの解決に向けて、自ら学習課題を設定し、自ら選んだ学習方法で情報を収集・整理・分析し、課題を追究し、解決することができる生徒の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ①生徒に学習課題を設定させるための手だて ②生徒が自ら選んだ学習方法で情報を収集・整理・分析させるための手だて
公開授業	第1学年 （地理的分野）B 世界の様々な地域 （2）世界の諸地域 ④ 北アメリカ		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小関 祐之 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	中学校 数学	研究 主題	数学科における効果的な「学習の個性化」の実現 ～個別最適な学びと協働的な学びの交互作用による学習の深化～
日時	令和7年2月3日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで		
会場	府中市立府中第一中学校	概要	生徒自身が既習事項の有用性を感じ、一人一人が自らの学び方を決定しながら学習を進められる指導を工夫することで、自ら決定した学び方をもとに、状況に応じて他者と協働し、自らの課題を解決していくことができるようになる考えた。 本研究では、習得・活用・探究という学びの過程を重視しつつ、単元の終盤に探究的な学習の場を設定し、特に探究的な学習の場面において、効果的な「学習の個性化」の実現を図る。
公開 授業	第1学年 データの分析		
講師	府中市立府中第一中学校 統括校長 山本 周一 氏		

部会	中学校 理科	研究 主題	自ら課題を設定する生徒の育成 ～協働的な学習を通して～
日時	令和7年2月17日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで		
会場	西東京市立青嵐中学校	概要	本研究は、「探究の過程」のうち「課題の発見（把握）」すなわち「自然事象に対する気付き」から「課題の設定」までに焦点を当て、授業の改善を目指したものである。「協働的な学び」を中心に、生徒一人一人が課題を設定する力を身に付け、探究的な学習を繰り返すことにより、「個別最適な学び」との一体的な充実の実現に寄与するものである。
公開 授業	第1学年 第1分野 身近な物理現象「光と音」		
講師	江戸川区立松江第四中学校 校長 鶴澤 伸一 氏		

部会	中学校 保健体育	研究 主題	生徒が課題を発見し、解決するための指導の工夫 ～ICTの活用及び多様な場の設定を通して～
日時	令和7年2月14日（金） 午後1時35分から午後4時30分まで		
会場	稲城市立稲城第三中学校	概要	生徒が学習したことを基に自己の課題を発見し、その解決のための方法を自分で選択したり、仲間と協働して解決したりする学習の中で、粘り強く課題の解決を図ろうとする生徒の育成を目指し、以下の3点を視点に研究を行った。 ①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る単元指導計画 ②ICTの効果的な活用 ③学習課題に応じた場の設定
公開 授業	第1学年 球技（ゴール型）「サッカー」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 綱島 毅 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	中学校 外国語	研究 主題	聞き手や読み手に配慮しながら、アウトプットができる生徒の育成 ～中学校外国語科における『個別最適な学び』と『協働的な学び』の充実を通して～
日時	令和7年1月23日（木） 午後1時15分から午後4時30分まで		
会場	目黒区立第一中学校	概要	I C T等を十分に活用しながら、生徒が自分の習熟の程度に応じた学習課題や学習方法を選択して表現したり、対話的な活動を通して表現の内容や質を高めたりできるようにするなど、中学校外国語における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点に基づく指導の工夫を行い、聞き手や読み手に配慮しながら、アウトプット（伝え合ったり、話したり、書いたりすること）ができる生徒を育成することを目指す。
公開 授業	第2学年 Unit7 World Heritage Sites		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 入之内 昌徳 氏		

部会	中高合同 美術	研究 主題	造形的な視点から新しい意味や価値を見だし、自己の可能性を広げる生徒の育成
日時	令和7年2月19日（水） 午後1時25分から午後4時30分まで		
会場	江東区立辰巳中学校	概要	造形的な視点から新しい意味や価値を見だし、自己の可能性を広げる生徒の育成を目指し、以下の3点を視点として研究を行った。 ①生徒が自ら主題を見いだす力を高めるための主題設定の動機付け ②生徒が創意工夫し、表現方法を追求する力を高めるための知識・技能の動機付け ③生徒が感じたこと、考えたことを言語化する力を高めるための言語活動の動機付け
公開 授業	第1学年 全世界ご当地キャラ選手権		
講師	江戸川区立春江中学校 校長 横枕 耕史 氏		

部会	中高合同 特別活動	研究 主題	合意形成に向けた話し合いの工夫 ～デジタルとアナログの良さを生かした取組～
日時	令和7年2月19日（水） 午後1時20分から午後4時30分まで		
会場	東京都立石神井高等学校	概要	本研究では、以下の点を視点として、デジタル機器を効果的に活用し、合意形成に向けたホームルーム活動（学級活動）の研究を行った。 ・生徒がデジタル機器を活用し、全員の意見や考えを踏まえた上での合意形成ができるようにすること ・教師による対面指導や生徒同士による学び合い、多様な他者との対話を通して、人間関係形成を図ること ・話し合いの進め方に関する資料等を活用し、協働的な実践活動につなげること
公開 授業	第2学年 ホームルーム活動（学級活動）		
講師	東京都立石神井高等学校 校長 藤野 泰郎 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	高等学校 国語	研究 主題	生徒が自分の考えを形成し深めるための「読むこと」の指導と言語活動の充実
日時	令和7年2月14日（金） 午後1時45分から午後4時30分まで		
会場	東京都立墨田川高等学校	概要	国語科の見方・考え方を働かせた探究的な学習の実現を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ①自己の課題と解決に向けた筋道を可視化することで、学習を調整し、自己の課題を解決することができるかについての検証 ②思考を促す問いを設定することで、文章と自分の既知の知識や様々な経験を結び付け、自分と他者の考えを相対化し、考えを言葉で十分に形成できているかについての検証
公開 授業	第2学年 古典研究「大鏡」		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 上月 さやこ 氏		

部会	高等学校 公民	研究 主題	現代の諸課題の解決に向け、社会的な見方・考え方を働かせ、社会参画しようとする態度を育成する授業改善 ～課題に当事者意識をもち、対立やジレンマに折り合いをつけ、新たな価値を創造できる市民の育成を目指して～
日時	令和7年2月7日（金） 午後1時20分から午後4時30分まで		
会場	東京都立小川高等学校	概要	事実を基に多面的・多角的に考察したり、公正に判断したりする力や合意形成を図るために議論する力、及び、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度の育成を目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ①事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察し、公正に判断ができたかの検証 ②対立やジレンマに折り合いをつけ、新たな価値を創造することができたかの検証 ③多様な価値観に共感し、社会をより良くするために責任ある行動をとろうとすることができたかの検証
公開 授業	第2学年 地方自治と住民の生活		
講師	広島大学大学院人間社会科学研究科 准教授 川口 広美 氏		

部会	高等学校 数学	研究 主題	数学的な見方・考え方を働かせた、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させるための授業改善 ～学習者の自立を促す指導方法～
日時	令和7年2月10日（月） 午後1時55分から午後4時30分まで		
会場	東京都立立川国際中等教育学校	概要	単元やまとまりごとの指導計画を作成し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けて以下の研究を中心に行った。 ①主体的に学習を調整できるようにするために、問題解決の過程及び学習の振り返りを効果的に行う活動 ②数学的な見方・考え方を働かせた活動の充実のために、他者と考えを共有し深める活動 ③協働的な学びを充実させるために、デジタル機器を利活用した活動
公開 授業	第5学年 積分		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小林 廉 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	高等学校 理科	研究 主題	観察・実験を通じた個別最適な学びと協働的な学びを 実現するための授業 ～科学的な見方・考え方を働かせた探究的な学習の実 現～
日時	令和7年2月10日（月） 午後2時25分から午後4時30分まで		
会場	東京都立山崎高等学校	概要	全ての生徒の資質・能力を育成する、個別最適な学び と協働的な学びの実現に向けた授業改善を図るため、 以下の研究を行った。 ○試料等を特定させる実験を設定し、既習事項を活用 して自ら見通しをもって観察、実験を行う協働的な学 習や、一人一人の学習到達度に応じた指導を充実させ ることで、科学的に探究するための思考力、判断力、 表現力等を高めることができるかを検証する。
公開 授業	第2学年 無機物質		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 小林 一人 氏		

部会	高等学校 保健体育	研究 主題	多様な学習ニーズに応じた個別最適な学びと協働的な 学びの実現に向けた指導方法の工夫 ～生徒一人一人が可能性や能力を最大限に伸長する姿 を目指して～
日時	令和7年2月7日（金） 午後1時25分から午後4時30分まで		
会場	東京都立高島高等学校	概要	生徒が自己決定・自己調整をして課題解決を図る学習 活動を設定することで、社会の中で、他者と協働しな がら主体的に参画する力の育成を目指し、以下の3点 を視点に研究を行った。 ① 生徒自身の特性や学習進度、学習到達度に応じた場 の設定 ② デジタル機器を利活用して、視覚的に得た情報から 課題に対する問いを立てる学習活動 ③ 多様な他者と協働しながら、互いに尊重し合うこと のできる協働的な学習活動
公開 授業	第1学年 ダンス		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 綱島 毅 氏		

部会	高等学校 外国語	研究 主題	デジタル上でのルーブリックの活用を通じた「話すこ と〔やり取り〕」の力を育成する指導の工夫 ～「個別最適な学び」及び「協働的な学び」の実現に 向けて～
日時	令和7年2月7日（金） 午後1時30分から午後4時30分まで		
会場	東京都立鷺宮高等学校	概要	「話すこと〔やり取り〕」のパフォーマンスに関し て、年間を通して活用できる「共通ルーブリック」の 中から生徒自身が選択した達成すべきサブゴールを設 定する工夫や生徒同士の相互評価への活用において、 以下の点を中心に研究を行った。 ・デジタル上に作成した「共通ルーブリック」の授業 内における活用方法の工夫 ・生徒自身がサブゴールを個別に設定するための指導 の工夫と効果の検証 ・生徒同士の相互評価に係る効果の検証
公開 授業	第2学年 Lesson 9 「Biodiesel Adventure:From Global to Glocal」		
講師	東京都立昭和高等学校 校長 大泉 昌明 氏		

令和6年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	高等学校 農業	研究 主題	個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る授業改善 ～職業人としての見方・考え方を身に付け、課題解決能力の育成・向上を図る指導方法～
日時	令和7年2月7日（金） 午後2時25分から午後4時30分まで		
会場	東京都立園芸高等学校	概要	農業科目における個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図り、職業人としての見方・考え方を身に付け課題解決力を育成する。 学習活動と農業が抱える課題や地域振興と関連付けた継続的・体系的な学習を行う。検証授業において、一人1台端末の活用による前時の振り返りと本時の予習、一人一人に応じた学習課題の提供、他者との関わりの中で得た気づきの共有等を行う。
公開 授業	第2学年 総合実習（動物科）		
講師	東京都立園芸高等学校 校長 一ノ瀬 淳 氏		

部会	特別支援学校等 知的障害教育	研究 主題	「なりたい自分」を意識した主体的な学びを促す指導の工夫 ～キャリア教育の視点を踏まえた指導を通じて～
日時	令和7年2月21日（金） 午後1時25分から午後4時30分まで		
会場	足立区立鹿浜第一小学校	概要	児童・生徒が主体的に学習に取り組むため、単元を通して成長した姿である「なりたい自分」を明確にすることで、目標を意識しながら授業に臨むことを目指し、以下の点を中心に研究を行った。 ①児童・生徒が自己理解に基づき、単元における目標の設定や振り返りをするための「なりたい自分シート」の作成と使用したことによる変容 ②授業者がキャリア教育の視点を取り入れた学習指導案を作成し、指導を工夫する過程での変容
公開 授業	特別支援学級 体育「多様な動きをつくる運動」		
講師	東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 統括指導主事 平澤 庄吾 氏		

部会	特別支援学校等 発達障害等教育	研究 主題	「できる」を増やし、主体的に学びに向かう児童の育成 ～個々の児童の教育的ニーズに応じた支援方法の工夫～
日時	令和7年2月4日（火） 午後2時30分から午後4時30分まで		
会場	稲城市立稲城第一小学校	概要	通常の学級に在籍する発達障害のある児童への適切な指導・支援を行うことで、主体的に学びに向かう児童の育成を目指し、次の点を中心に研究を行った。 ・小学校学習指導要領解説を基に、発達障害のある児童の学習上の困難に応じた支援方法を整理した資料を作成する。 ・上記資料を活用し、通常の学級の授業場面における、発達障害のある児童の学習上の困難に応じた効果的な支援を検討し、その有用性を検証する。
公開 授業			
講師	東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 統括指導主事 松浦 隆史 氏		

令和 6 年度教育研究員部会別発表会 概要

部会	全校種 学校保健	研究 主題	健康に関する適切な意思決定と行動選択をする児童・生徒の育成
日時	令和 7 年 2 月 18 日（火） 午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分まで		
会場	八王子市立第七小学校	概要	けがや傷害の防止について、適切に意思決定し、行動選択をする力を身に付けている児童・生徒の育成を目指し、養護教諭による T T の指導を通して、以下の 2 点を中心に研究を行った。 ①けがや傷害の防止について児童・生徒がけがの発生要因などの課題を見付けたり、習得した知識や得た情報などから課題解決の方法を選択したりすること ②発見した課題や選択した方法を他者に伝えること
公開 授業	第 5 学年 けがの防止		
講師	国立教育政策研究所 教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 岩田 悟 氏		